

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (北関東)	◎	－	－	－
	○	コンビニ（エリア担当）	単価の動き	・食料品を中心に値上げが相次いでいるため、若干買い控えの様子もみられる。来客数は好調なことから、やや良くなっていると判断している。
	○	住関連専門店（店長）	それ以外	・米国大統領の就任で、やや良くなっている。
	○	都市型ホテル（支配人）	来客数の動き	・忘年会や新年会、年末年始の宿泊等の利用状況をみると良くなっている。
	○	タクシー（経営者）	お客様の様子	・今月中旬より全体的に動きが良くなり、前年同月と比べて6%の増収である。
	○	美容室（経営者）	来客数の動き	・景気は、物価、賃金、生産性の好循環が重要で、中小企業が賃金を上げるまでには至らず、人手不足による飲食店の倒産も起きている。
	○	設計事務所（所長）	お客様の様子	・以前は消費控えをしていたが、新しい年となり活動的になっている。
	□	一般小売店〔精肉〕（経営者）	お客様の様子	・年が明けて正月になっても、なかなか正月気分が出ていない。物価は上がり続けており、今月も前月同様に、チラシを見て目玉商材を買っている客が多い。この状況は当分変わらない。寒さが厳しくなってきたので、余計に人の動きが悪くなっている。
	□	百貨店（営業担当）	販売量の動き	・初売りより化粧品や衣料品は堅調に推移しているものの、食料品の不振が目立っている。食品大型物産展は引き続き好調だが、生鮮食品を中心とした購買率の低下が顕著である。
	□	百貨店（店長）	販売量の動き	・首都圏を中心とした全社の売上は好調に推移しているものの、北関東の当店の売上は、ほぼ横ばいである。
	□	百貨店（店長）	販売量の動き	・物価高の影響は継続しているが、低位安定傾向である。
	□	スーパー（商品部担当）	来客数の動き	・客単価や買上点数の変化はないものの、競合店出店の影響で来客数の落ち込みが続いている。
	□	家電量販店（営業担当）	販売量の動き	・季節指数が高いため、販売台数が前年比92%で推移している。
	□	乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・前月同様、新車や中古車等の販売が微減している。その反面、車検整備等のサービス部門の売上は伸びており、4月からの昇給に向けて取り組んでいる。
	□	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・今月中旬から受注が増加傾向となり、横ばいで推移している。
	□	自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・来客数や販売量から、平年の1月よりは静かな印象がある。
	□	住関連専門店（仕入担当）	来客数の動き	・初売り期間中は来客数も前年実績を超え、順調にスタートしたものの、中旬に中だるみして、前年並みの結果で終わっている。傾向としては余り変わらず、節約志向は強いままである。
	□	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・行楽シーズンや年末年始も終わり、節約の時期なのか来客数が減っている。
	□	その他飲食〔給食・レストラン〕（総務）	単価の動き	・主力の給食部門においては、受託売上がほぼ一定のなかで、経費が上昇しており、収益が圧迫される状況が続いている。人件費はある程度織り込んでいるが、食材費が米や野菜を始め、高止まりを続けており、採算確保が厳しい。
	□	観光型ホテル（経営者）	来客数の動き	・年末年始が終わり、閑散期に入ったこともあるが、各種メディアで増税や政治不安をおおる情報が多く見受けられる。実質的な経済の見通しが悪くなるのではないかとといった消費者の負のマインドが強いようである。前年と比べても、企画、セールス、その他施策等の様々なアプローチを試みても、来客数の増加はみられない。インバウンドを除けば、国内市場の停滞が顕著に出ている。

□	旅行代理店（所長）	来客数の動き	・正月は日並びが良かったこともあり、そこそこのにぎわいを見せた。正月後は、各地の宿泊施設は休館時期となっている。今期はスキー場の降雪もまずまずの状態なので、週末には国内旅行者や東南アジアからのインバウンドでにぎわっている。
□	旅行代理店（従業員）	お客様の様子	・旅費の圧迫につながる物価高で、利益に還元できていない。
□	通信会社（社員）	単価の動き	・取引先からの仕入価格増額の提案が増えている。
□	通信会社（営業担当）	単価の動き	・ガソリンへの補助金がなくなり、しばらく高騰が続くため、消費意欲は現状と変わらない。
□	通信会社（総務担当）	販売量の動き	・今月は3か月平均より上回りそうだが、漸減が続く流れは変わっていない。
□	テーマパーク（職員）	来客数の動き	・生活物資やガソリン価格の上昇などの影響からか、客足が鈍くなっている。
□	ゴルフ練習場（経営者）	お客様の様子	・国内の観光地はインバウンド需要で人手が足りないくらいに潤っているものの、全体的にみると景気は余り良くない。
□	ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・比較的、前年より天候に恵まれて暖かい日も多かったため、予約は直前まで動く傾向にある。プレー人数は前年並み、単価は前年より若干プラスになっている。
□	住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・良くなる要因が見つからない。
□	住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・このあたりでは余り大きな動きはなく、引き合いもそれほど多くはない。ただし、後継者問題で、地元の小さな店舗がかなり閉店している。反面、飲食店等は若干元気が出ているようで、貸店舗の問合せ等も少し出てきている。
□	その他住宅〔住宅管理・リフォーム〕（営業）	お客様の様子	・コスト重視は相変わらずで、安い価格の会社を受託する流れがまだまだ根強い。
▲	商店街（代表者）	お客様の様子	・年末の写真付き年賀状印刷の受注と年始の成人式の写真撮影が激減している。スマートフォンの影響なのか、時代の流れとはいえ、景気が良くなる要因は見込めない。
▲	一般小売店〔土産〕（経営者）	販売量の動き	・前年を基準にした売上達成度で比較すると、3か月前と比べて悪くなっている。今月は比較的穏やかな正月で、初詣客も多く見受けられたが、当店の販売量増加にはつながらなかった。原因としては、前年よりも海外旅行者が少なく、穏やかな天候のため露店等で食事を済ませる客が多かったこと、社寺が大変混雑していて、食事や買物をするまでの時間がなかったこと等が考えられる。また、物価高の影響が国内旅行者の購買力が落ちたようである。
▲	一般小売店〔酒類〕（経営者）	販売量の動き	・寒いために来客数も売上も減っている。また、宴会等も少なくなっている。
▲	百貨店（営業担当）	お客様の様子	・初売り、福袋販売等で来客数、売上共に好調だったが、通常期に入ると購買動向は沈静化し、売上は前年とほぼ変わらない。燃料費高騰などもあり、移動にガソリン車を使用する地方店顧客の消費マインドが低下していくのではないかと懸念している。
▲	スーパー（総務担当）	来客数の動き	・卵や野菜価格の高騰、ガソリン価格上昇等の影響からか、来客数、購入金額が減少している。
▲	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・年末年始の反動で、来客数がやや減少している。
▲	コンビニ（店長）	単価の動き	・単価の低い物が売れるようになってきて、利益でみると少し下がっている。
▲	衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・近所にある老舗スーパーが撤退してしまったため、商店街への来街者が減少し、当店の来客数減少につながっている。

	▲	家電量販店（店員）	販売量の動き	・売上の動きは、12月から1月の進捗を前期と比較すると、10ポイント下がっている。また、今月は前年比で99%と前年実績を割っている。厳寒のため、好調な商材はエアコンで113%となっている。
	▲	一般レストラン〔居酒屋〕（経営者）	来客数の動き	・長期の年末年始休暇が終わり来客数は減少しているが、予想していた傾向である。
	▲	一般レストラン〔居酒屋〕（経営者）	来客数の動き	・年末年始の9連休が明け、更に3連休があった影響なのか、客足が鈍い。
	▲	旅行代理店（経営者）	販売量の動き	・旅行業は閑散期に入るため、目に見えて販売量が落ちている。
	▲	通信会社（局長）	単価の動き	・物価高騰は止まらず、現行の給与水準は物価の上げ幅には追いついていない。厚生年金の加入義務の導入等、一段と庶民の生活に大きな影響を及ぼすことが考えられ、先行きは不透明である。
	▲	美容室（経営者）	お客様の様子	・物価高騰、特に食費が掛かるので、他の物にお金が使えないと客が話し始めると、周りの客もそうだと同調している。美容等への支出は、生活必需品ではないといわれている。こうしたなか、従業員の給料を上げなくてはとも考えても、売上は増えないため、打つ手がない。
	×	一般小売店〔家電〕（経営者）	単価の動き	・物価高で苦しんでいる国民の税金は上がる一方で、賃金は上がらない。このような状況で景気が良くなるはずはなく、商材も売れない。
	×	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・年末年始に来客数が増えてきているのは実感したので、今後も来客数が増えると予想する。
	×	衣料品専門店（販売担当）	来客数の動き	・いつものように、あらゆる手段を講じて、客に来店してもらおう工夫はしているが、年が明けてから、本当に全くといえるほど、人が動いていない。どうしたらよいのか本当に頭を抱えている。
	×	乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・相変わらず、残業や休日出勤が増えていない。
	×	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・非常に悪い。閉店する店もあり、同業の仲間もかなり厳しく、事業転換しようと考えている人も出ている。ちゅう房機具メーカーや問屋に話を聞いても全く売れないと嘆いている。
	×	タクシー運転手	お客様の様子	・インフルエンザ流行の影響もあるとみているが、新年会等の飲み会がなく、街中はひっそりとしている。タクシーの利用客も減少し、12月と比べて売上が3割ほど減っている。昼間の時間帯もカーシェアやレンタカー利用が増えており、客離れが起きている。景気がかなり悪い。
企業 動向 関連	◎	—	—	—
(北関東)	○	食料品製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・原料価格の高騰に対する価格転嫁が受け入れられている。
	○	建設業（開発担当）	取引先の様子	・取引先の状況が良くなっている。
	○	金融業（営業担当）	受注価格や販売価格の動き	・個人事業主、中小企業共に価格転嫁は進んでおり、若干ではあるが、利益率の改善も見込まれている。
	□	化学工業（管理担当）	受注量や販売量の動き	・大口の受注がない。
	□	窯業・土石製品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・年度内は順調に続くと考えている。
	□	一般機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・新年の挨拶で多くの顧客の声を聞いたが、現状、仕事が活況で忙しいという話は一切なく、明るい展望を聞くことも残念ながら少なかった。
	□	輸送用機械器具製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・2～3か月前にある程度受注価格の見直し等をしてもらったので、幾らかは景気が良くなっている。
	□	輸送用機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・受注先にトラブルがあったものの、生産に大きな影響はなく計画どおりに進んでいる。

	□	輸送業（営業担当）	取引先の様子	・新生活用品、白物家電、寝具、テーブル等は前年並みの物量を確保している。ただし、燃料価格の高騰や2024年問題でドライバーの労働時間の上限規制もあって車両不足となり、コスト高で利益は薄くなっている。
	□	経営コンサルタント	それ以外	・新年に入って、国内の金利とインフレの動向、米国の政治経済の先行き不透明感、大手と中小零細企業の賃上げの動向等、不確定要因に直面している状況が、マスコミ等で盛んに伝えられているなかで、民間の消費活動が心理的に抑えられている。実体経済がマスコミ情報に振り回されている。
	□	司法書士	受注量や販売量の動き	・相続登記が義務化されてもう2年たつが、それ以来、司法書士業は、普通よりは仕事がやや多い状態でずっと推移している。少し良い状況といえる。
	□	社会保険労務士	取引先の様子	・新年会等の集まりで、受注が増えているという話は余り聞かなかった。
	▲	一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・通常1月は決算前で需要が増えることが多いが、今期に限ってはその気配がなく、気掛かりである。
	▲	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量は前年比で2～3割下がっている。年度末に向けて調整しているようなので、在庫が多いのかもしれない。
	▲	広告代理店（営業担当）	取引先の様子	・広告出稿を請け負っている個人飲食店の廃業が増えている。新型コロナウイルスの感染拡大時のゼロゼロ融資が返済不能となるケースが目立っている。
	×	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・中国向けの生産が減少している。
	×	不動産業（管理担当）	それ以外	・前年後半から取引先に値上げ要請をして、ようやく納得してもらい請負金額等に反映したが、その間にも燃料や資機材の値上がりりが止まらず、利益増加に結び付かない。
雇用 関連 (北関東)	◎	—	—	—
	○	—	—	—
	□	人材派遣会社（社員）	求職者数の動き	・50代以上の求職者の登録が増えており、企業側の理解が必要である。シニア層が活躍できる求人を獲得する必要を実感している。
	□	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は前年同月比で増減を繰り返している。
	□	学校〔専門学校〕（副校長）	採用者数の動き	・様々な企業において、人材不足は大きな業績悪化につながっている。本校でも新規求人に対する応募が少なく、困惑している状況がある。
	▲	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・年末年始、特に年始から祭りや行事等への応援要請や求人募集があった。観光地等では外国人等の来客数が増え、かなり購買力も上がり売上が伸びたように見受けられる。ガソリンや電気料金、野菜等の価格も上がっているため、財布のひもは固い。
	▲	人材派遣会社（管理担当）	求職者数の動き	・派遣求人を掲載しても、以前のように求職者が集まらないため、減収である。
	×	*	*	*